

# 法寿苑だより 冬

No.15 2011年1月15日



## 年頭の挨拶

施設長 山口卓哉

新年明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

施設は、もう一つの「家」とよく言われます。我々人間は、生まれる場所は選べませんが、住む場所は選べることができます。そして死ぬ場所も選べることができます。人生の最後に安住する場所のことを総じて「終の棲家」とも表現されます。

我々のような介護福祉施設も例外ではありません。近年では、その方の人生においての余生を過ごす場所として施設を選択される方の割合も多くなりました。しかし、介護福祉施設が「終の棲家」としての選択肢の一つであるならば、入居者が望む真の「終の棲家」であるかをもう一度考える必要があると思います。施設の入居者は、自分に合う施設を探して「ここで介護を受けたい」と申込みをされる方もいますが、大半は家族の利便性や複数の施設を申込みした中で順番が来たから…という方がほとんどです。入居の理由はどうであれ、施設に入居されている以上、我々は利用者が満足できる真の「終の棲家」を提供していかねばならないのです。

サービス業界においては、「ホスピタリティ」という言葉をよく使います。一般的には「おもてなし」という意味で使われますが、今までの画一的なマニュアルのサービスとは対極であり、「何が良いサービスなのか」ではなく「お客様は何を望んでいらっしゃるのか」「をいつも考えることが大切なのです。ホスピタリティとは何かを示

す逸話として、石田光成の有名な話があります。

昔、鷹狩りに出かけた豊臣秀吉が、ある寺で喉を潤すための茶を頼むと、一杯目にはぬるめのお茶が大きな茶わんにたっぷり入ってきた。秀吉がそれを飲み干して、「もう一服」と言つと、今度はやや熱く、少し濃いめのお茶が出てきた。これも飲み干して、「もう一服」と言つと、最後には小さな茶碗に香りの利いた熱く煮えたぎった濃いお茶が出てきた。

つまり、喉の渴きを潤すお茶から、茶の香りを味わうためのお茶へと、秀吉のその時の状態に合わせて最適なお茶を出したのです。このお茶を出したのが石田光成で、秀吉はこの心遣いに感動して光成を家来に取り立てたということでした。光成のふるまいは、言葉としての「サービス」も「ホスピタリティ」もない頃に、日本人の心の中にある「相手を思う心」の現われとして深い示唆を含んでいます。

「終の棲家」として法寿苑を選んでいただいたご利用者一人ひとりに対して、「今、何を望んでいらっしゃるのか、またどのような生活を望んでいらっしゃるのか」を常に考えて行動が起こせる施設でありたいと思っています。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 小学生の法寿苑訪問

十月十五日、十九日、二十七日に高松市立木太小学校の五年生が当苑を訪問されました。

小学校の生徒たちは介護士の業務を見学したり、利用者とかるたとりや歌をうたったりしてふれ合いました。また小学生から心のこもった折り紙のプレゼントをいただいた利用者もいました。



## 介護者のつどい

弘善会三施設合同（弘恩苑、香色苑、法寿苑）で十一月十日に岡山県へ日帰り旅行に行ってきました。在宅で介護をされている方を中心に、利用者のご家族のほか、地域の方々や高齢者福祉に興味のある方も参加されました。移動中の車内では、「ためしてガッテン」認知症について「D」VDを観ました。

午前中は日本三名園の一つである後楽園を、午後からはキリンビール岡山工場や備前焼備州窯を見学しました。後楽園では菊花展も開催されており、長距離移動でしたがみなさん楽しそうに見学されていました。



## 弘善会ヘルパーステーションが

### スタート

社会福祉法人弘善会では、これまで特別養護老人ホーム法寿苑、弘恩苑、香色苑それぞれに訪問介護事業所（ヘルパーステーション）を併設して運営してまいりましたが、平成二十二年十二月一日より、三事業所を一つに統合し、「弘善会ヘルパーステーション」として新たにスタートしました。事業所は旧法寿苑ヘルパーステーション（法寿苑内）です。

統合に伴い、訪問介護員（ヘルパー）も二十五名になり、ご利用者の皆様には更なる高品質のサービスを提供するとともに、今まで以上に様々なニーズに柔軟に対応していくと考えています。特養での介護経験や介護福祉士等の有資格者も多数配置しておりますので、一人暮らしや高齢者世帯での炊事・洗濯・買い物等の家事や、自宅での入浴・排泄等の介護でお困りの場合はどうぞお気軽にご相談ください。

今後とも地域のみなさまから信頼していただける事業所として頑張っていきますので、これからも宜しくお願いいたします。

## 訪問介護員（ヘルパー）募集

### 私たちと一緒に

### 働きましょう！

早朝・夜間・土曜・日曜・祝日を中心に  
働ける方を募集します。

資格：ヘルパー二級以上

時給：身体介護 二〇〇〇円（一時間）

生活援助 一六〇〇円（一時間）

【連絡先】（〇八七）八三一 五五〇〇

【担当】芳竹



# 10月

## コスモス見学

さぬき市のコスモス畑へ見学に行きました。今年も絶景でした。おしゃべりしながらコスモス畑を一周し、心も体もリラックスできました。



## 華麗なる獅子舞

地域の方々の協力で、法寿苑に、迫力満点の獅子が舞いました。



## ホピ村様の慰問

ホピ村様の独唱を披露していただきました。法寿苑に綺麗な歌声が響き渡りました。



# 11月

## 菊花展観賞

公淵公園で開催されていた菊花展に行きました。開催期間中は多くの人が訪れていました。今年も菊を使ったすばらしい作品が展示されていました。笑顔いっぱい！菊いっぱい！



## もみじ散策

十一月十二日、紅葉を見に行きました。地面に赤茶色のじゅうたんが広がっているようので、たいへんきれいでした。

左の写真は、集めたもみじの葉で作ったアイデアランチョンマットです。帰ってからも、紅葉気分を味わう事が出来ました。



## 五弦バイオリンスト登場

世界的に有名な五弦バイオリンスト長山哲様の慰問がありました。バイオリンの音色は、音に深みがあり演奏を聞きにきた利用者は、静かにじつと耳を澄まして聞き入っていました。すばらしい演奏をありがとうございました。



## ボラえもん様の慰問

今回も、たくさんマジックやダンスショーを披露していただきました。いつもと違うマジックに利用者も興味深々です。



## たこ焼き作り

自家用たこ焼き機を使って、たこ焼きパーティーを行いました。くるっとひっくり返し、焼き具合を見ながらふわふわのたこ焼きが出来上がりました。



## ギター演奏会

三十一番館にて、ギター演奏会が行われました。ラストにはリクエストに答えていただき、利用者の熱唱とギターの音色が大きく鳴り響いていました。



## フラワーアレンジメント

大井様のご協力により、フラワーアレンジメントが開催されました。お正月に合わせた梅・松・せんりょう等の飾り付けを、利用者みなさん真剣な表情で取り組まれていました。



## メリークリスマス

クリスマススイブには、デイサービスや各ユニットに、プレゼントを届けにサンタクロースがやってきました。

また、サンタさんからのプレゼントのクリスマスケーキを皆で食べました。



## 餅つき

年末恒例行事の餅つきが十二月二十八日に行われました。デイサービスや特養などたくさんの利用者が参加されました。

参加者みなさまのご協力により、もちもちのたくさんの白餅をつくることができました。愛情込めて包んだあん餅が出来上がると、一人ひとりにつきたての熱々もちがふるまわれました。あつという間に完食してしまうほどの人気でした。なかには一年後のもちつきを、すでに楽しみにしている利用者もいらっしゃいました。



# 22 番館の生活日記

## HAPPY BIRTHDAY



11月15日

この日は職員と二人で高松の街中をドライブしました。東浜恵美須神社に立ち寄った際には、紅葉の季節であったので、境内の木々がたいへんきれいに紅葉していました。帰ってくると笑顔でドライブの様子を職員に話されました。



10月1日

職員から座布団用クッションやパースデーケーキ、パースデーソングなどのプレゼントがありました。またユニットの利用者からも祝福されたいへんうれしそうにされていました。



二十二番館は、男性四名、女性六名からなるユニットです。元トラック運転手の方や大工さんの経験がある方など、たいへん個性的なユニットです。大工の仕事をしていた方は現役時代には自分の家も建てたそうです。



## 夫婦円満



二人仲良く寄り添って、いる姿を撮影できました。いつも仲の良い様子で話されています。これから元気な二人でいてください。

## コスモス見学



十月二十七日、さぬき市のコスモス見学に行きました。あたり一面に咲き誇るコスモスの花をみて興奮気味に「すごい。ひろいな」と圧倒されていました。

## 嚙下体操



食事の前には誤嚥の防止、むせ込み防止のため嚙下体操をしています。職員の掛け声が続いて大きな声で発声します。

苦情受付状況

平成二十二年十月～十二月

介護方法に関する内容	0件
職員の対応に関する内容	1件
施設の対応に関する内容	1件
利用者との人間関係に関する内容	0件
入居中の医療に関する内容	0件

老人介護支援センター

・介護保険サービスのご相談。  
・サービス計画（ケアプラン）の作成をいたします。  
介護を必要とされる方が、住み慣れた自宅で安心して生活していただけるようお手伝いいたします。

ホームヘルプサービス

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、身体面（入浴・オムツ交換）や生活面（掃除・洗濯・調理）等、身の周りのお世話をいたします。

デイサービス

苦情・要望等のご意見がありましたら、各事業所の受付担当者（左記参照）までお電話でもお越しいただいても構いませんので、お気軽にご相談ください。

- ・特別養護老人ホーム・ショートステイ  
駒井 伸行 8 3 2 5 5 0 0
- ・デイサービスセンター  
河野 敬三 8 3 2 5 6 8 0
- ・老人介護支援センター  
芳竹 大輔 8 3 2 5 4 0 0
- ・ホームヘルプサービス  
堀 麗子 8 3 2 5 7 6 8

月曜日から土曜日まで（祝日も営業）デイサービスを開所しております。見学も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。  
アクティビティで多くの作品を作っています。レクリエーションもパワー全開で利用者に毎日楽しく過ごしていただけるよう援助サービスを提供しています。

法寿苑デイサービスの一日の流れ

8時半：送迎  
身体状況にあわせて、ご自宅までお迎えに伺います。（リフト車・車椅子等の準備）  
お茶や駄菓子をお配りいたします。

9時半：湯茶接待  
朝の挨拶  
健康チェック  
入浴  
休憩  
物療  
12時：昼食  
13時：休憩  
個別機能訓練  
身体状況にあわせて、ご自宅までお迎えに伺います。（リフト車・車椅子等の準備）  
お茶や駄菓子をお配りいたします。  
体温、血圧、脈拍等の測定を行います。  
希望者は介助浴や機械浴等、身体状況に合わせての入浴を行います。（入浴をされない方は、マッサージ機等でゆっくりお過ごし下さい。また、ゲーム等も準備しています。）  
一般食・特別食（嚥下状態に合わせて、粥や刻み食やソフト食等に変更出来ます。）  
リハビリ機器を利用したり、歩行訓練等を行っています。一緒に頑張りましょう。体調に合わせて、ベッドで静養することもできます。

13時半：カラオケ  
通信カラオケも楽しめます。

14時半：体操・身体を動かすゲーム・手先を使って趣味運動・季節の行っています。季節によってはお花見等の外出を行っています。  
お茶やおやつをお配りいたします。  
頭の体操を兼ね、ちよっとしたクイズ等があります。  
帰りの挨拶を行います。

15時  
45分：頭の体操  
15時  
55分：帰りの挨拶  
16時：送迎  
ご自宅までお送りいたします。  
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

## 寄付・慰問

あたたかい御厚情のお礼申し上げます「平成二十二年十月～十一月」  
順不同

### 《寄付物品》

藤井敬史様、アカマツ(株)様、川井利二三様、澤田淳子様、森田様、寺岡淳子様、高崎千代子様、特別養護老人ホーム一宮の里様、造田周一様、山西信子様、平田保二様、宮井恵子様、土居好江様、谷本ハナコ様、浦田哲夫様、森田裕様、太田義道様、山西敏之様、木村マスミ様、佐々木哲夫様、岡本ユキ工様、滝川美子様、正岡英秋様、榎村様、川西径子様、鎌倉宣様、太田三津子様、岡谷泰秀様、福井ハナ子様

### 《寄付金》

南原勉様、藤野稔様、荒木ツユコ様、岡谷泰秀様  
《御慰問・御奉仕》  
今田様、有馬照顕様、ホピ村若林一色様、ボラえもん様、津田和美様、長山哲様

個人情報保護の為、名称の公表を差し控えたい方がおられましたら、お申し出下さい。

## 特養職員の私服着用

特養入居者様への職員の対応として、より家庭的な雰囲気を実践するため特養職員につきまして、私服を着用するように致しました。ついでには、ご家族様などご面会の皆様にご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 防災訓練

十月十八日に防災訓練を行いました。

午後十一時に苑内二階中央介護材料室より出火したと想定し、二階入所者の避難誘導及び通報、館内放送の訓練を実施しました。

当日三十一名の利用者と五名の職員が参加しました。



### \* 1月1日現在 特養の現状 \*

	男性	女性	全体
入所者数(人)	10	40	50
平均介護度	3.20	3.43	3.38
平均年齢(歳)	79.7	86.1	84.8
最高齢(歳)	92	98	
最低齢(歳)	65	67	

### 配食ボランティアさん募集

法寿苑では、木太地区の高齢者を対象に手作りのお弁当(昼食)をお届けしています。つきましてはお弁当配達のご協力をお願いしています。ご協力していただける方は下記までご連絡ください。

(配達希望日時)

月～土曜日(祝日は除く)の11:45～12:30の間で配達可能な方

問い合わせ：法寿苑老人介護支援センター TEL087-832-5400



### 特別養護老人ホーム 法寿苑

〒760-0080 高松市木太町7区3308番地

(代表) TEL: 087-832-5500

FAX: 087-832-5530

法寿苑デイサービスセンター

TEL: 087-832-5680

法寿苑老人介護支援センター

TEL: 087-832-5400

弘善会ヘルパーステーション

TEL: 087-832-5768

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp>

(弘善会ホームページよりお入りください)

E-mail [houshyuen@kouzenkai.jp](mailto:houshyuen@kouzenkai.jp)

